

秦野市議会 第3回議会報告会 (質疑応答)

<平成26年4月23日【水】午後7時～

会場：西公民館>

記録：佐藤文昭、高橋文雄

No.	質 問 ・ 意 見	回 答 ・ 要 望
1	パサデナ市公式訪問団への渡航費がビジネスクラスという話があったが、その是非について議会内では、どのように承認されたのか。	内容について見直すとの回答を執行部から得ているので、議会と執行部でしっかりと内容を詰めていきます。
2	「広報はだの」の戸別配布の費用はどの程度か。	約2,000件で費用は概ね100万円程度であると思います。
3	西中学校体育館と西公民館の複合施設について、国の補助金が活用できるものと、補助金が活用できないものがあると聞いたがどうか。	市の担当者へ投げかけ、回答を得ましたので、ご紹介します。 学校施設を整備する場合には、国において、施設の種別や整備・改修の内容に応じた国庫補助制度があり、今回の複合施設においては、体育館、プール、武道場等の整備が対象施設となりますので、国庫補助制度を活用していきたいと考えています。一方で、その他の公民館などの生涯学習施設には、国の補助制度の活用が難しい状況にあります。 いずれにしましても、公共施設の整備にあたっては、補助制度を含め様々な支援制度がありますので、条件等をよく調査し、できる限り市の財政負担が軽減できるよう活用努めていきたいと考えています。
4	西中学校体育館と西公民館の複合施設に消防が入ることでサイレンなどの音が授業の妨げになるのではないかと。	執行部との話し合いの中では、サイレンの音に配慮していくということでした。校舎の配置や向き、または防音サッシ等について検討していきます。
5	民間事業の活用による、多様なサービスに対応していくとのことだが、今後、市が管理運営しているものを民間に委託する方向で進めていくのか。	現時点では、運営形態については未定であるため民設民営や公設公営ということになる可能性もあります。
6	学校施設を整備する場合とそれ以外（室内プールなど）に分けるなど、補助金が多くもらえる方法を追及してほしい。(要望)。	
7	たばこ祭は、たばこを奨励しているようにも思えるので、名称を変えるべきではないかと。	たばこ祭は、秦野市の歴史と文化を伝える祭りであり、過去、秦野では、たばこ栽培の全国3大名産地でした。また、この祭りは、たばこ喫煙を奨励するものではありません。
8	元気な人は元気であるため、元気な人が病気にならないような施策や、社会参加できるような施策を進めてほしい。(要望)。	

No.	質 問 ・ 意 見	回 答 ・ 要 望
9	秦野には里山などがあり、多くの自然が残っているため、自然と親しめる秦野をPRしてほしい。(要望)	県の補助金を活用し、多くのボランティア団体などが里山の保全に協力するなど取り組みも行っていきますが、議会でもPRしていきたいと思います。
10	防災マニュアルは学校でどのように使われているか。	防犯マニュアルを参考に、各学校等の教職員で幼小中一貫防災教育研究部会を平成24年度に立ち上げて、幼稚園では、防災カルタや防災紙芝居、小学校では、我が家の非常持ち出し袋をつくる取り組み、中学校では、発災から救援物資が届くまでの3日間をどのように生き抜くかを考える授業など、各学校等が連携して取り組んでいます。
11	市長は、市長選前に職員組合と協定を結んだと聞いた。当選後に公開するとのことであったがどうなったのか。	市長は、議会において、協定の内容をホームページ等で公開すると言っています。
12	粗大ごみをはだのクリーンセンターに直接持ち込めないか。	粗大ごみにつきましては、名古屋の清掃事業所への搬入になります。引っ越しに伴うごみなどは、名古屋の清掃事業所において、粗大ごみと燃えるごみに分別した後に、はだのクリーンセンターへ持ち込むための搬入券の発行を受けて、燃えるごみの自己搬入はできます。軽トラック1台1,000円程度であったと思います。 (燃えるごみ10kgあたり190円)
13	政務調査費から政務活動費となり、市民相談に対応する携帯電話代やガソリン代が出るようになったようだが、消防団の予算は、削減されていることについて意見を伺いたい。	消防団の定員も不足していることは承知しております。今後、新東名高速道路ができると出動件数も多くなることが想定されるため、議会でも取り上げています。
14	複合施設の懇話会が結成されたが、話が進んでいない。地元議員には懇話会の内容情報を伝え、共有をすべきだと思う。	議会も心配しているので、情報を共有していきたいと思います。